

会議状況等報告書

会議の名称	第1回大府市緑化推進委員会
日時	令和7年5月19日(月)14時00分～
場所	大府市役所 5階 全員協議会室
出席者	樋口委員、水谷委員、服部委員、只井委員、深谷委員、程原委員、池田委員 岡村市長、伊藤部長、池村課長、保坂係長、鎌田主査、山田主任、鈴木主事

1. 委嘱状交付

新任委員へ委嘱状の交付

2. あいさつ

市長あいさつ

3. 委員長・副委員長の選任

樋口委員が委員長、水谷委員が副委員長に選任。

4. 議題

(1) 提案型緑花推進事業実績報告(令和6年度)及び企画提案書(令和7年度)について【資料1、2】事務局)---【資料に基づき中級団体の活動について説明】---

委員)各団体に聞きたいのは、色々問題がある中で水やりが大変だと聞いている。今年度はどのような対策を考えているか。

中級団体)会員が各花壇の側に住んでいるため、家から水を持って水やりをしていた。ただ今年度から大きなタンクを買ったため、車で近くまで行き、ポンプを使って水巻きを行いたいと考えている。

中級団体)近くに水が供給できる所が無いため、水やりが少なくてすむような植物を選んで植えている。

中級団体)朝早い時間や夕方の時間に当番で水をまく。水源は公共用地の水を使っている所と、地域の団体から一定金額まで水道水を寄付してもらっている。上限金額を超えた場合は超過分を支払っている。

委員)アダプト吉田は花を植えるスペースが年々増加している。どのように対応しているのか。

中級団体)近所で散歩している人が多くいるため、通りかかった時に雑草抜きや花柄取りを協力いただいている。

○提案型緑花推進事業(中級団体)の実績報告(令和6年度)及び企画提案書(令和7年度)を承認

○上級団体については各団体員から説明を実施。

BT木の山---【資料に基づき上級団体の活動について説明】---

委員)人員の構成の男女比はどうなっているか。

木の山)団体は15名程度いるが、女性は少なく3名ほど。

委員)女性ばかりだと力仕事がかまできない。年齢層は高いのか。

木の山)70代が多い。様々な団体を兼務している高齢者が多い。

委員)高齢化が進んでいるので若い世代にも参加してもらえるようにすると良い。活動中のケガ等に備えて保険はかけているか。

木の山)保険はかけていない。

委員)児童にも参加してもらえるよう呼びかけたことはなかったか。

木の山)過去に挑戦にしたがうまく人が集められず、参加者の定着には至らなかった。

委員)毎年花が植えてある場所が増えていっている。見応えがあり、よくあの道を使っている身としてはありがたく思っている。

委員長)活動中の保険に入っていないとの話であったため、道路作業中にヒブスを着用するなど他の方法で安全対策は行っているか。

木の山)気を付けないといけない箇所にはカラーコーンを用意して作業したことはある。更なる安全対策は今後話し合っていきたい。

事務局)先ほど保険の話が出たが、今回の活動であれば市のボランティア保険が適応できると考えられるため団体には情報提供していく。

大府コミュニティ---【資料に基づき上級団体の活動について説明】---

委員)積算根拠の所で補助対象経費はどれくらいあるか。

大府コミ)秋の花植えにかかった費用をあげている。

委員)補助対象経費ではない費用も多くあるようだがどうしているか。

大府コミ)足りない分はコミュニティの会費を充てて活動している。

委員長)小学校との連携はどのように行っているか。

大府コミ)近年は学校へのイベント案内は学校の配信サイトを利用することになっているが、子ども達が直接見て興味を持って欲しいため教育委員会と調整して紙面掲載をしている。学校側の負担にならないようチラシに申込フォームを掲載し、団体で申込管理をしている。

委員長)サイトでの一斉配信だと他の配信内容に埋もれてしまうこともある。丁寧な対応だと感じた。

委員)活動人員は何人ぐらいいるか。

大府コミ)多ければ50名程度集まることがある。地域コミュニティの長所を活かして声を掛け合いながら継続していきたい。

はなまるOBU---【資料に基づき上級団体の活動について説明】---

委員)大府駅西口のロータリーのどこにハナモモを植えているか。

はなまる)ロータリーの中心部の植栽に植えているが、最近生育が良くない。今後手を加えることを検討している。

委員長)様々な管理を行っていて大変だが、関連団体と連携しているのか。

はなまる)定期的に団体の代表が集まり活動の状況報告をしている。作業の時は各団体から参加できる人を募り20人程度で活動をしている。

委員)自己負担額が多いように感じたが、どうしているか。

はなまる)イベントの際に寄付を募っている。

委員長)活動団体がわかるようなプレートは今後も配布するのか。

事務局)団体から要望があれば配布できるよう調整していきたい。

5. 報告事項

(1) 第20回シビックガーデンコンテストについて【資料3】

事務局)---【資料に基づき説明】---

委員長)この委員にはコンテストの審査委員をされた方がいますので何かコメントをお願いします。

委員)年々、花の飾り方がお洒落になっている。また参加者には元気な方が多く、驚かされる。

委員)市内の花が好きな人と繋がれたのは大きな財産になった。参加者の人も年々工夫が見られた。

委員長)交流会の様子を知っている委員さんもいますのでコメントをお願いします。

委員)毎年楽しそうに参加してくれているのでとても良い時間だった。

委員長)このシビックガーデンコンテストでできた参加者との繋がりを今後も大事にできたら良いと思っている。

委員)交流した人から話を聞くとコンテストに参加していない人でも花をきれいに植えるために研究している。人によっては市外のイベントに赴いている人もいた。そのような人から話を聞けるのもいい勉強になった。

委員長)今の取り組みをどう広げていくかを大事にして考えていきたい。SNS等を利用した方法も良いが、今まで培ってきた繋がりを活かした方法もできたら良いと考えている。

(2) 令和8年度愛知県植樹祭について【資料4】

事務局)---【資料に基づき説明】---

委員長)大府市の緑花活動の取り組みを市内外の人に知ってもらえるようなチラシ等を作って情報発信して欲しい。

委員)標語やポスターで賞を受賞した場合、賞状以外に副賞はあるか。

事務局)現段階は調整中である。受賞者は植樹祭当日に表彰式を行う予定である。

(3) 令和7年度緑化推進委員会について【資料5】

事務局)---【資料に基づき説明】---

・次回以降の会議の日程を調整

6. その他

(仮称)シビックガーデン写真展について【資料6】

事務局)---【資料に基づき説明】---

委員)写真展参加者を対象に寄せ植え講座を実施するとあるが、講座の参加対象者をもっと広げて欲しい。今回案で示された講座とは別に参加が自由な寄せ植え講座を設けることはできないか。

事務局)参加者を増やすための方法として、今回事務局が考えた案とは違った視点になり、参考になる意見であるため検討していきたい。

委員)応募は一人何点まで考えているか。

事務局)まだ具体案までは検討していない。また次回以降の会議で具体案を示していきたい。

委員)ニツ池セレクトナでシビックガーデンコンテストの写真が展示されていた。

委員)安城市では写真展ではなく写真コンテストだったが、他に参考にした自治体はあったか。

事務局)他の自治体のものも参考にしたが、一番参考にしているのが安城市である。

委員長)写真展は写真を集めた後どのような展開を考えていますか。

事務局)これまで提案型緑花事業をしている団体は季節等の兼ね合いもありコンテストに参加し辛かった。今回写真展にすることで季節を問わず、撮影者が一番良い季節の写真を出すことができ、紹介ができる。今回の案は「道から見える」をテーマにしているので観光マップに掲載もできないかと検討している。

委員)ただ写真を送ってもらうのではなく、参加者に写真のテーマを決めてもらうか、年毎にコンテストのテーマを決めて募集すると面白いではないかと思う。

事務局)今後検討を進めていく。

○採点の結果、提案型緑花事業上級団体すべての団体が事業申請に対して承認となった。

委員長)各団体の長所を他団体に情報提供できると、各団体が行き詰っている懸念事項が解決できるかもしれない。事務局から他団体の情報提供はできないか。

事務局)団体から相談があれば他団体の事例も紹介していきたい。